

TamaHome®

第26期 株主通信

2023年6月1日 ~ 2024年5月31日



Happy Life, Happy Home.

品質も、価格も、叶う家。

タマホーム株式会社
証券コード：1419

タマホーム

検索

<https://www.tamahome.jp>
スマートフォンでもご覧いただけます



会長メッセージ

ステークホルダーの皆様とともに 未来に向けて成長を続け、 豊かな社会の構築に邁進いたします。

代表取締役会長 玉木 康裕



多くのお客様から高いご評価を得て、 事業は堅調に推移

令和6年能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地域の1日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

私たちタマホームは「より良いものをより安く提供することにより社会に奉仕する」という経営理念を実践し、高品質の住宅を適正価格でお届けするとともに、建てた後のお客様の幸せまでも育まれる家づくりを目指し、主力事業である注文住宅事業を中心に、戸建分譲事業、リフォーム事業、不動産事業へと事業の裾野を拡大してまいりました。私たちの取り組みは、多くのお客様から高いご評価をいただいております。特に近年では、住宅業界におきましては、住宅価格の上昇、実質賃金の低下、消費マインドの低下、世帯数・生産年齢人口の減少に伴い、新設住宅着工戸数は漸減となりました。特に注文住宅の新設住宅着工戸数は前年同月を下回った状態が2年以上続いております。このような厳しい事業環境の中、注文住宅の戦略商品である地域限定商品及び期間

限定商品はお客様に広く受け入れられ、当社の主力商品に成長しております。

2024年5月期は、売上高2,477億円(前期比3.3%減)、営業利益125億円(同5.1%減)、経常利益128億円(同4.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益87億円(同0.4%増)となりました。

世の中に必要とされる企業であり続けるために

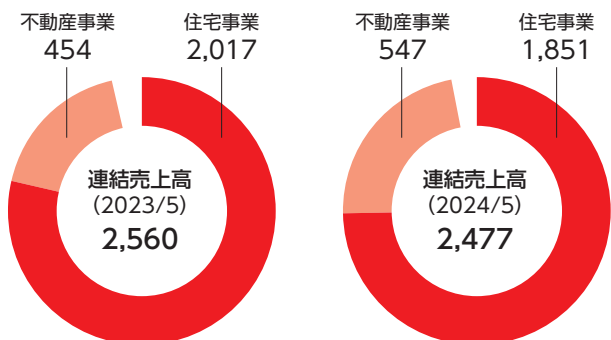
全てのステークホルダーとの良好な関係づくりを目指すタマホームは、企業価値の拡大に向けた成長戦略の遂行と並行して、CSR基本方針に基づく様々な活動を継続的に行っています。

2024年5月期は、従業員の心身の健康増進のための取り組みが評価され、経済産業省及び日本健康会議より「健康経営優良法人2024」(大規模法人部門)に認定されました。また、ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2023において、「大安心の家シリーズ1~7地域」が「優秀賞」を受賞しました。優秀賞は9年連続の受賞となり、「省エネ住宅特別優良企業賞」を受賞するなど、CSR活動に対する外部からの高い評価を受けました。

その他にも私たちは、常にお客様・従業員・お取引先・地域社会・地球環境の各ステークホルダーにとって価値ある企業であり続けることを目指しております。

住宅業界の事業環境は、少子高齢化による市場の縮小や技能労働者の不足など決して楽観できるものではありません。その中で私たちは、創業時からの経営理念「より良いものをより安く提供することにより社会に奉仕する」の実現に向け邁進し、世の中に不可欠な企業として存続すべく、誠実に社業に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、タマホームの更なる進化にご期待いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

■ 事業別売上高構成 (単位: 億円)



住宅事業では、注文住宅において地域限定商品及び期間限定商品を中心に受注が堅調に推移するも、引渡棟数の減少が影響し、減収。不動産事業では、戸建分譲の引渡棟数が増加、オフィス区分所有権販売も売上に寄与し、増収。

「すべては“Happy Life”のために “Happy Home”を提供する」 を実現する理想の経営へ。

代表取締役社長 玉木 伸弥



親会社株主に帰属する当期純利益は、 8期連続で増益を達成!

株主の皆様には、日頃より当事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨今、住宅の新設着工に弱さが見られており、国土交通省「住宅着工統計」によると、2023年における新設住宅着工戸数は、81.9万戸(前年比4.6%減)と3年ぶりに減少に転じました。中でも、持ち家(注文住宅)は、22.4万戸(同11.4%減)と、1959年の20.4万戸以来、実に64年ぶりの低水準となり、2024年に入ってから市況改善の兆しは見られず、非常に厳しい事業環境が続いております。

国内住宅業界における、注文住宅の新設住宅着工戸数が低迷する中、当社の主力事業である注文住宅事業においても少なからず影響を受け、売上棟数は減少したものの、お客様の生活環境や価値観、行動様式の多様化にご要望にお応えできるよう、適宜商品の見直しを行い、地域特性に合わせた商品の開発・販売戦略を実施し、受注においては堅調に推移いたしました。また、不動産事業などの各事業において収益の向上に努めました。

2024年5月期の売上高は2,477億円(前期比3.3%減)と減収になったものの、親会社株主に帰属する当期純利益は87億円(同0.4%増)と、8期連続で増益を達成することができました。

これもひとえにご支援いただきました株主の皆様のおかげです。誠にありがとうございます。

タマホームが考える理想の経営へ

長引く住宅市況の低迷に順応し、持続的成長を実現するため、当社は住宅事業における商品及び販売に関する戦略として新たな考えを取り入れ、その一環として、お客様、従業員、協力業者である職人の皆様の視点から見た理想の経営を目指したいと考えております。

お客様の視点では、接客力・商品力・設計力・提案力が高く、お引渡し後のアフターサービスも充実している、経営の安定した企業が求められていると考え、当社においては、耐震性能

や断熱性能に優れたコストパフォーマンスの高い商品の開発やデザイン性の高い設計・提案、更なるアフターサービスの拡充等、ご来場からご契約、お引渡し以降もお客様に感動の連続を提供できるよう、様々な取り組みを考えております。

従業員の視点では、労働環境の改善や収入面における優遇、福利厚生充実が求められていると考え、2024年5月期は107日から120日に年間休日を変更しました。従業員の業務効率の向上を図ることができ、2025年5月期より年間休日を更に130日に変更しました。また、昨今の物価上昇の状況を鑑みて、所得水準の維持を目的とした手当や災害時に備えた手当の支給を行っております。これからも、その他各種手当の検討を行い、収入面及び福利厚生を充実させたいと考えております。

職人の皆様の視点では、安定した仕事の供給、職人不足による作業負荷の軽減、若い世代の人財確保・育成が求められていると考え、当社においては、安定した仕事の供給ができるよう、三つの早期(受注・着工・売上)対応の推進により、工期の平準化を図ることで安定した仕事の供給ができると考えております。また、若い世代の職人を確保できるような現場環境の改善と作業負荷軽減のための仕組みづくりを考えております。

従業員・職人の皆様に関わる労働環境を整えていき、お客様へ質の高い接客と提案を行うことで、高品質な住宅の提供が可能となり、タマホームの考える理想の経営につながっていくと考えます。

これらを実践していくことにより「タマステップ2026」計画4年目となる2025年5月期連結業績は、売上高2,350億円、営業利益137億円、経常利益138億円、親会社株主に帰属する当期純利益92億円を予想しています。また、2025年5月期の期末配当は、1株当たり195円(当期比5円増配)を予定しています。

引き続き、株主の皆様のご期待に応えられるよう、業績の向上と企業価値の増大に努めてまいります。全てのステークホルダーのため、常に感謝の気持ちとともに社員一丸となって邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

業績・財務情報

当期決算のポイント

当期決算は、8期連続で親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。主力事業である住宅事業において、注文住宅の引渡棟数が減少した影響が大きかったものの、不動産事業において戸建分譲の引渡棟数が増加、オフィス区分所有権販売の売上も増加しております。引き続き、新設住宅着工棟数No.1を目指し、当社中核事業である4つの事業を推進するとともに、持続的成長を実現し、株主の皆様へ利益還元してまいります。

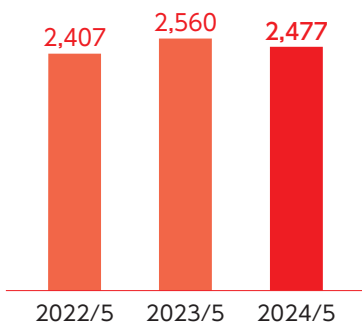
業績ハイライト

(億円)

	2023年 5月期実績	2024年 5月期実績	増減率
売上高	2,560	2,477	△3.3%
営業利益	132	125	△5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	87	87	0.4%

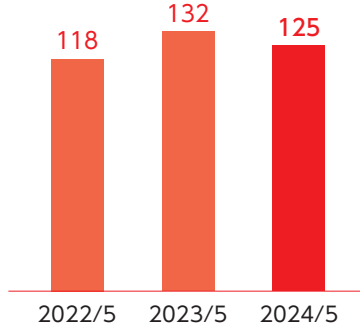
■ 売上高

(億円)



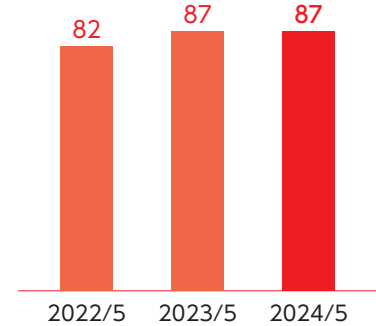
■ 営業利益

(億円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益

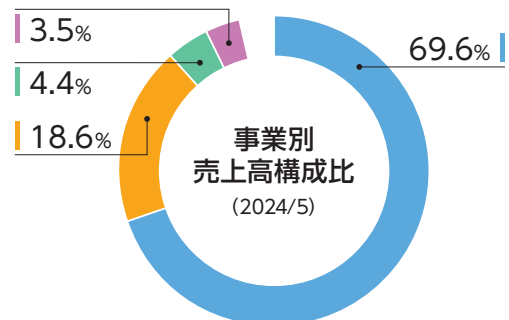
(億円)



タマホームの中核事業

(億円)

	2023年 5月期	2024年 5月期	増減率
■ 注文住宅事業	1,895	1,724	△9.0%
■ 戸建分譲事業	375	461	22.8%
■ リフォーム事業	102	110	7.0%
■ 不動産事業 (戸建分譲事業を除く)	78	86	10.4%



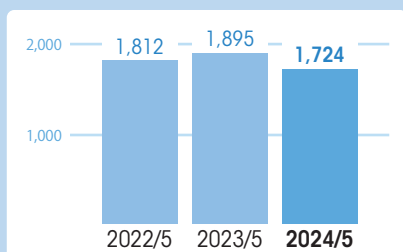
注文住宅事業

注文住宅の建築請負

木造注文住宅の建築事業を主事業としており、全国のお客様にタマホームの家を実際に「来て、見て、触って、ご納得いただく」ために、現在47都道府県に展示場を設置し、モデルハウスを展開。



売上高
1,724億円



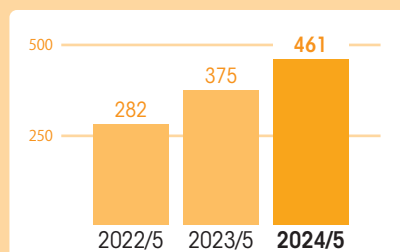
戸建分譲事業

分譲宅地・戸建分譲の販売

分譲宅地・戸建分譲の仕入・販売を行うことで、家づくりからまちづくりへ街並みや景観にも配慮した総合的な住環境を提供。



売上高
461億円



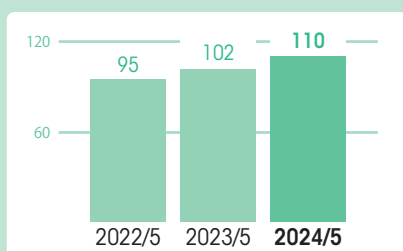
リフォーム事業

リフォーム工事等の請負

入居後10年を経過したお客様を中心に保証延長工事等のリフォーム受注活動を展開。豊富な商品ラインナップと万全なサポート体制で、快適かつ安心のリフォームを提供。



売上高
110億円



不動産事業

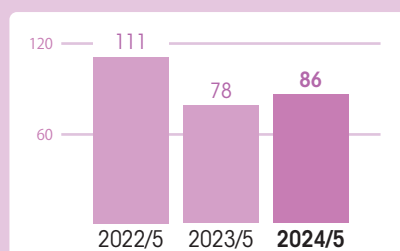
(戸建分譲事業を除く)

マンションの企画・開発・販売 /
オフィスビルの転貸事業 /
オフィス区分所有権販売事業

新築分譲マンション事業、中古マンションのリノベーション販売やパワーオフィスメント事業(オフィスサブリース、オフィス区分所有権販売)など幅広い分野で展開。



売上高
86億円



令和6年能登半島地震に対する支援

(輪島市・七尾市・珠洲市・能登町)

当社は、令和6年能登半島地震により被災された方々の支援活動にお役立ていただくために、石川県輪島市・七尾市・珠洲市・能登町に対し、食料品、飲料水の支援物資を贈呈いたしました。

当社はこれまでも、事業活動を通じ迅速な災害復旧、復興に取り組んでまいりました。当社は今後とも、全社を挙げて地域社会への貢献・協力に取り組んでまいります。

【支援物資内容】

- ・パックご飯 180g 1,500食
- ・タマアグリ株式会社製八女茶ペットボトル 350ml 960本



「健康経営優良法人2024」(大規模法人部門)認定

特に優良な健康経営を実践している法人として、経済産業省より顕彰

当社は、「健康経営優良法人2024」(大規模法人部門)に認定されました。社員の健康増進を含めたワークライフバランスの実現推進に積極的に取り組んでいます。主な取り組みとしては、全社員対象のストレスチェックテストの実施、多様な休暇制度の導入、年間休日数の増加などがあります。今回の認定を受けて、タマホームは従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的な取り組みをより一層積極的に、継続的に推進していく方針です。



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2023

「優秀賞」と「省エネ住宅特別優良企業賞」を受賞

当社は、ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2023で「優秀賞」と「省エネ住宅特別優良企業賞」を受賞しました。

「優秀賞」は、9年連続の受賞となり、省エネ住宅の普及と環境性能の向上に取り組んでいます。

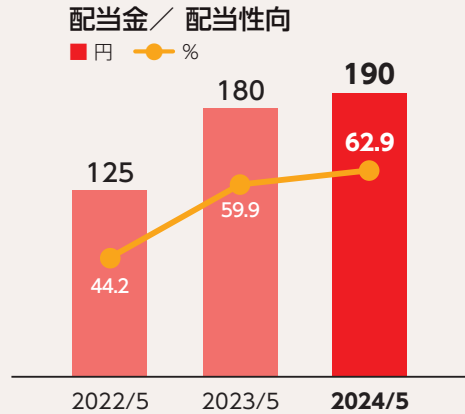
「優秀賞」を受賞した、大安心の家シリーズは高い住宅性能を持ちながら、リーズナブルな価格で提供されています。標準仕様で長期優良住宅認定に対応しており、断熱性能は、ZEH基準相当の「断熱等性能等級5」をクリアしています。



株主還元について

配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと認識し、経営成績に応じて株主の皆様への利益還元を継続的にを行うことを基本方針としています。2024年5月期の年間配当金は、2023年5月期と比べ10円増配し、1株当たり190円とさせていただきます。なお、2025年5月期の配当は、1株当たり195円を予定しています。



■ 会社概要

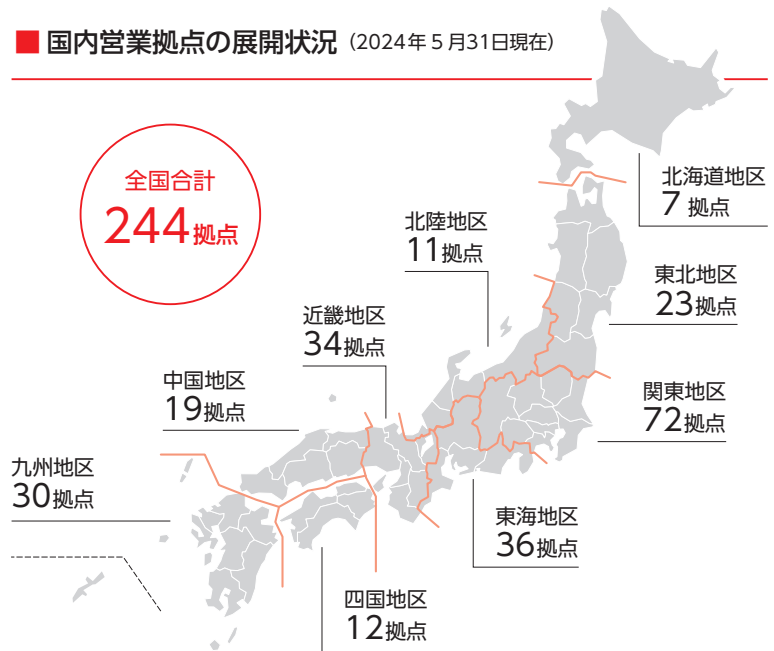
商号	タマホーム株式会社
設立	1998年6月3日
資本金	43億10百万円
従業員数	連結3,420名
グループ会社	連結13社

■ 役員 (2024年5月31日現在)

代表取締役社長	玉木 伸 弥
代表取締役会長	玉木 康 裕
取締役副社長	北 林 謙 一
専務取締役	直 井 浩 司
常務取締役	加賀山 健 次
取締役	小 島 俊 哉
取締役	柴 田 秀 稔
取締役	竹 下 俊 一
取締役(社外)	金 重 凱 之
取締役(社外)	近 本 晃 喜
監査役	玉 木 克 弥
監査役(社外)	幣 原 廣
監査役(社外)	鴛 海 量 明

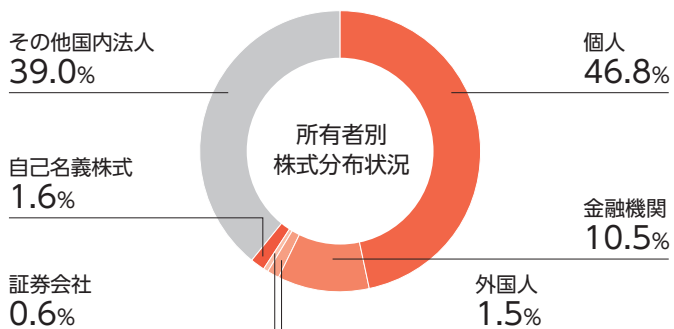
※金重凱之、近本晃喜、幣原廣、鴛海量明の4氏は、東京証券取引所及び福岡証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たした独立役員であります。

■ 国内営業拠点の展開状況 (2024年5月31日現在)



■ 株式の状況 (2024年5月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	29,455,800株
株主数	54,516名 (単元未満株所有株主を含む)



■ 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援への感謝と、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくこと、及びより多くの皆様に当社の事業へのご理解をいただくことを目的としています。

対象は毎年11月30日及び5月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様となります。

【概要】

「株主様限定 特製クオ・カード」を贈呈いたします。

保有株式数	保有3年未満	保有3年以上
100株以上	500円分	1,000円分

株式保有期間に関するご注意

株主名簿に記載されている株主番号が変更されると、保有期間が中断されてしまいますのでご注意ください。

下記の事項に該当する場合は、当社の株主名簿に記載されている株主番号が変更となる可能性がございますので、ご注意ください。株主番号の変更の有無については、株式をお預けの証券会社にお問い合わせください。

【株主名簿に記載されている株主番号が変更となる可能性のある事例】

▶ 株主名簿の登録が変更された場合

- ・ 婚姻や転居により、株主名簿に記載の氏名・住所が変更となった場合
- ・ 相続などにより株式の名義人が変更となった場合
- ・ 株式をお預けの証券会社を変更した場合

▶ 株主名簿の登録から外れた後、再度登録された場合

- ・ 証券会社の貸株サービスをご利用されている場合*
- ・ 保有株式を全て売却し、権利付最終日までに同じ銘柄の株式を買い戻した場合
- ・ お預けの証券会社で保有株式を全て売却し、別の証券会社で同じ銘柄の株式を購入した場合

*貸株サービスをご利用された場合、株式の所有権が貸出先に移転するため株式の名義が変更となります。なお、貸株をご本人の名義に戻した時点で新たに株主番号が割り当てられる可能性があります。

■ IRカレンダー



■ 株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
定時株主総会	8月中	特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	5月31日	郵便物送付先 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株		

(ご注意)証券会社に口座をお持ちの場合、お取引の証券会社へお申出ください。未払配当金の支払、支払明細発行については、「特別口座」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・取扱店をご参照ください。

タマホーム株式会社 経営企画部 〒108-0074 東京都港区高輪3丁目22番9号 TEL: 03-6408-1200 FAX: 03-6408-1210

当社の中期経営計画、業績・財務情報、株主優待制度、株主基本情報など、詳しい情報につきましては、お手数ではございますが、当社ホームページ「企業・IR情報」内の「IR情報」をご覧ください。

